



つながれ KENPOKU

令和4年9月14日 発行

「つながれ KENPOKU」では、県北教育事務所総務社会教育課より、県北地区の社会教育に関する話題を随時、お届けして参ります。地域と社会教育関係者、地域人材と学校など、様々なつながりを大切にしながら県北地区の社会教育を盛り上げていきたいと考えております。

今年度第1号は、公民館訪問（福島市学習センター訪問）についてお伝えします。

福島市学習センター訪問

7月4日（月）清水学習センター 7月8日（金）北信学習センター

【清水学習センター】



- し○み○が○く○の基本理念のもとに各種事業を展開しています。
 - し…市民が親しみ
(社会の変化やニーズに即した講座・学級の拡充)
 - み…みんなが集う
(団体・サークルの育成、支援及び関係機関・団体との連携)
 - が…学習と町づくりの拠点として
(生涯学習に関する相談機能の充実と情報提供の促進)
 - く…暮らしを豊かに
(生涯学習活動の拠点としての学習環境の充実)

【北信学習センター】



- キャッチフレーズは「笑顔の見える学習センター」です。
北信中学校区は、令和3・4年度の地域学校協働本部モデル事業として福島市から指定されています。※シトラスリボン活動を北信中学校と協力して実施しています。
- ※ 新型コロナウイルスに感染された方や医療従事者に対する偏見や差別をなくすため愛媛県の有志がつくったプロジェクト。リボンのシトラス色は、愛媛特産の柑橘が由来です。

話題のコーナー

「社会教育士制度について」

社会教育士制度は、社会教育主事になるために修得すべき科目等を定めた社会教育主事講習等規程の一部改正によってできた制度です。



社会教育士

<様々な場で活躍できる社会教育士>

「社会教育士」は、学びを通じて、人づくり・つながりづくり・地域づくりに中核的な役割をはたす専門性を身につけた地域のコーディネーターです。

今後、社会教育士は、社会教育施設や教育委員会事務局だけでなく、地方公共団体の各部局や、NPO、企業、学校などの他、地域活動やボランティア活動などにおいても、活躍することが期待されています。